

各団体における取組

【埼玉県消費者団体連絡会】

○ 令和 7 年度の取組

- ・ 9月12日、第61回埼玉県消費者大会プレ学習会「米不足はなぜ起きたのか ～お米の安定確保と供給を視点に考える～」を開催し、会場52人、Zoom56人、計108人が参加しました。講師は、一昨年の第59回埼玉県消費者大会食の分科会でもお話しいただいた、加須市を拠点に大規模農業に取り組む生産者、中森農産株式会社代表取締役の中森剛志さんに、米、農業、エネルギーなど幅広い視点で講演いただきました。
- ・ 2026年2月9日に、埼玉県食品衛生安全局と消費者団体の懇談会を開催し、埼玉県7人、9消費者団体10人が参加し、埼玉県食品衛生監視指導計画結果および計画について、小林製菓の紅麹サブリ事故をふまえ、いわゆる健康食品について、鳥インフルエンザ・豚熱に対する県の防疫対策などの状況について、保健所体制などについての4項目をテーマに開催しました。
- ・ 3月4日、「日本の食料・安全保障について」をテーマに関東農政局との意見交換会が開催され、関東農政局9人、9消費者団体21人が参加しました。さらに、「食品安全に関する情報」「みえるらべるの紹介」の情報提供のあと、質疑応答、意見交換が行われました。

○ 令和 8 年度の取組計画

- ・ 2027年2月、埼玉県食品衛生安全局と消費者団体の懇談会開催予定

【さいたま市消費者団体連絡会】

○ 令和 7 年度の取組

- ・ 消費生活展や消費者フォーラムでの食に関する展示など行いました。

【埼玉県地域婦人会連合会】

○ 令和 7 年度の取組

- ・ 埼玉県米消費拡大推進協議会事業への協力：県産米粉を使用した米粉パンを試食して、アンケートをとりました。
- ・ 歯舞産の早煮昆布を使った料理教室を開催しました（蕨市）

○ 令和8年度の取組計画

- ・ 埼玉県米消費拡大推進協議会事業への協力：①県産米粉を使用した親子料理教室の開催 ②県産米を使用した秩父の郷土料理教室の開催

【新日本婦人の会埼玉県本部】

○ 令和7年度の取組

- ・ 1990年から「産直運動」を実施。「食べて、学んで、美しく」をスローガンに30余年間にわたり多様な取り組みを展開してきました。
- ・ 生産者との交流を大切に、田植えや稲刈り体験などをおこなっています。郷土料理を大切にする視点を取り入れたサークル活動や産地を訪問するバスツアーも行いました。大豆トラスト運動での味噌づくりも行いました。
- ・ 「米不足・米高騰は続くのか？食・農業の危機を考えさらに行動へ」「埼玉の2025年度と米をとりまく現状」と題し生産者を招いての学習2回の学習会を行い、食料自給率を上げるために私たちの出来ることを話し合いました。



○ 令和8年度活動計画

- ・ 田植えや稲刈りの農作業体験の継続した実施。
- ・ 埼玉県産米の消費拡大に関する学習会の実施。
- ・ 「産直ツアー」の実施検討。
- ・ 産直品を美味しく食べる料理サークルの推奨。

【公益社団法人埼玉県栄養士会】

○ 令和7年度の取組

- ・ 市民健康栄養講座（講話、骨密度測定、栄養・食生活相談）
- ・ 埼玉県米消費拡大推進協議会事業への協力
- ・ 彩の国米まつりにおいて食生活相談・骨密度測定
- ・ 介護予防における栄養講座と調理実習
- ・ 食事バランスガイドの推進（通年）
- ・ 栄養の日イベント（8月2日）栄養週間（県民の栄養に対する興味喚起を促す）
- ・ 地産地消の推進
- ・ 埼玉県牛乳普及協会 第46回牛乳・乳製品料理コンクールへの協力
- ・ 障害者施設における栄養講座と調理実施

○ 令和8年度取組計画

- ・ 市民健康栄養講座（講話、骨密度測定、栄養・食生活相談）
- ・ 埼玉県米消費拡大推進協議会事業への協力
- ・ 彩の国米まつりにおいて食生活相談・骨密度測定
- ・ 介護予防における栄養講座と調理実習
- ・ 食事バランスガイドの推進（通年）
- ・ 栄養の日イベント（8月1日）栄養週間（県民の栄養に対する興味喚起を促す）
- ・ 地産地消の推進
- ・ 埼玉県牛乳普及協会 第47回牛乳・乳製品料理コンクールへの協力
- ・ 障害者施設における栄養講座と調理実施
- ・ ねんりんピック彩の国さいたま 2026 弁当部会参加
- ・ 食育を目的とした、子ども食堂の運営



【一般社団法人埼玉県調理師会】

○ 令和 7 年度の取組

- ・ 県民の健康づくりのために食生活の改善、食品衛生の推進、安心安全な食品の推進と会員の資質向上、調理師技術、健康食育の推進・啓発
- ・ 地産地消を会員に協力依頼
- ・ 健康づくり協力店の推進
- ・ 調理師による県民の食生活の向上に関する条例の実施
- ・ （公社）日本調理師会主催の全国こども愛情弁当コンテストへの協力
- ・ 埼玉県鮭組合…埼玉県産野菜酵素すしの勉強会と料理教室(9 月 20 名 R8. 3 月 20 名) 寿司割烹 山水にて
- ・ 調理師試験準備講習会・模擬試験の実施

○ 令和 8 度の取組計画

- ・ 県民の健康づくりのために食生活の改善、食品衛生の推進、安心安全な食品の推進と会員の資質向上、調理師技術、健康食育の推進・啓発
- ・ 地産地消を会員に協力依頼
- ・ 健康づくり協力店の推進
- ・ 料理の工夫及び研究（アレルギー対策等含）
- ・ 食中毒防止の講習会（5 月）寿司割烹 山水
- ・ 調理師による県民の食生活の向上に関する条例の実施
- ・ （公社）日本調理師会主催の全国こども愛情弁当コンテストへの協力
- ・ 埼玉県鮭組合…埼玉県産野菜酵素すしの勉強会と料理教室(11 月)
- ・ 調理師試験準備講習会・模擬試験の実施
- ・ 埼玉県委託事業 料理講習会

【埼玉県食生活改善推進員団体連絡協議会】

○ 令和 7 年度の取組

- ・ 食育月間（毎年 6 月）、食育の日（毎月 19 日）の普及啓発
- ・ 県内産の米を使った県民向けの料理教室を開催
米料理教室は、30 市町 30 会場（704 名）で実施
- ・ 地域の行事食、伝統食の継承
- ・ 地産地消の啓発としての県の米をはじめ農産物を利用したイベントでの試食づくり、宣伝活動

- ・ 地場産の食材を使ったコバトン健康メニュー（塩分 3 g 未満、野菜 120 g 以上、カロリー500～700 カロリーまで）の新メニュー開発と既存メニューの県民への普及（県内 20 市町で実施）、（県のホームページに随時掲載し、クックパッドにも掲載）
- ・ 防災食を各市町で実施しました。

○ 令和 8 年度の取組計画

- ・ 食育月間（毎年 6 月）、食育の日（毎月 19 日）の普及啓発
- ・ 県内産の米を使った県民向けの料理教室を開催
米料理教室は、30 市町で実施予定
- ・ 地域の行事食、伝統食の継承
- ・ 地産地消の啓発として、県産米をはじめとした農産物を利用したイベントの試食づくり、宣伝活動
- ・ 地場産の食材を使った埼玉県コバトン健康メニュー（塩分 3 g 未満、野菜 120 g 以上、カロリー500～700 カロリーまで）の新メニュー開発と既存メニューの県民への普及（県内 26 市町で実施）（県のホームページに随時掲載、クックパッドにも掲載）

【埼玉県農業協同組合中央会】

○ 令和 7 年度の取組

- ・ 県産農産物を使用した「健康で風土に合った食生活研修会」の実施（6 月 4 日、26 日）
- ・ 野菜の日にちなんで、8 月 31 日付埼玉新聞に特集記事及び広告を掲載。
- ・ 11 月 15～16 日、県内農林水産業を広く PR するため、彩の国食と農林業の祭典ドリームフェスタを開催した。
- ・ 県産農畜産物の PR のため、11 月 11 日開催の「埼玉県地産地消ブランド農産物を味わう集い」に協賛した。
- ・ 9 月から 1 月にかけて、県産米新米キャンペーンを開催し、県産新米購入者を対象に抽選で景品が当たる企画や、浦和レッズ選手を活用して、県産米の PR を行った。
- ・ 三遊亭鬼丸氏を起用し、県産農畜産物の PR 活動を実施した。

以下、周年

- ・ J A グループさいたま「地産地消・みんなのよい食プロジェクト」運動

「よい食」とは何かを、生産者とＪＡグループ、消費者のみんなで一緒に
なって考え、行動していく運動。栄養バランスや適性摂取量などの観点か
ら食への関心を高め、調理や食材への興味を喚起。

- ・ 生産履歴記帳運動
各種研修会を開催することによる、生産履歴記帳運動の充実強化。
- ・ ＪＡ農産物直売所ＰＲ
地産地消の実践によるＪＡ・地域農業の理解促進、農産物の安全・安心確保
のため、ＪＡ農産物直売所店長研修会を開催。
- ・ メディア等を通じた県産農産物のＰＲ
 - ① ＪＡグループさいたまホームページ「みらの」にて各種情報の発信。(通年)
 - ② 消費者向け情報誌「みらの」発行。(７月、１１月、３月発行)
 - ③ ＳＮＳを活用した情報発信。

○ 令和８年度の取組計画

- ・ 県産農産物を使用した生活事業担当者向け料理講習会の実施。
- ・ 野菜の日になんで、８月３１日付埼玉新聞に特集記事及び広告を掲載。
- ・ 彩の国食と農林業の祭典「2026 彩の国食と農林業ドリームフェスタ」の開
催。
- ・ 埼玉県地産地消ブランド農産物を味わう集いへの協賛。
- ・ 県産新米の購入者に対し、抽選でプレゼントを実施するとともに、浦和レッ
ズ選手を起用した、県産米のＰＲの実施。(新米キャンペーン)
- ・ 浦和レッズと連携した県産農畜産物ＰＲの実施。
- ・ 三遊亭鬼丸氏を起用した県産農畜産物のＰＲ活動。
- ・ 「地産地消」・「国消国産」の実践に伴う、全世代型食農教育の実施。

以下 周年

- ・ ＪＡグループさいたま「地産地消・みんなのよい食プロジェクト」運動の実
施
- ・ 生産履歴記帳運動の実施
- ・ ＪＡ農産物直売所ＰＲ活動の実施
- ・ メディア・ＳＮＳ等を活用した県産農産物のＰＲ活動の実施
- ・ 各種ＰＲ資材の作成

【全国農業協同組合連合会埼玉県本部】

○ 令和7年度の取組

- ・ F R E i S A i d 版生産履歴管理システムの普及促進
- ・ 各種キャンペーン協議会等と連携したホームページ、テレビ、SNS、ふかや花園プレミアムアウトレット前デジタルビジョン、料理・食材雑誌にて農畜産物の情報提供
調味料メーカーとのメニュー共同開発、販促資材等の作成およびPR活動
- ・ 学校給食会への県産農畜産物の安定供給と連携強化
- ・ J A 農産物直売所の運営改善支援
- ・ 埼玉県産春野菜大田市場PRイベント（4月22日）



大 田 市 場 P R イ ベ ン ト

- ・ スーパー・量販店への販促強化及び県内農産物の地域内流通並びに春夏野菜、秋冬野菜、彩の国黒豚試食販売等
- ・ 埼玉県と連携した水稻新品種えみほころのPRや県内外量販店における試験販売及び県産米の消費拡大に向けた販売促進（JA直売所における増量キャンペーン等）
- ・ 2025 彩の国食と農林業の祭典（ドリームフェスタ）にて
県産農畜産物販売促進（11月15日・16日 熊谷市 熊谷スポーツ文化公園）
- ・ 「埼玉県地産地消ブランド農産物を味わう集い」にて県産農畜産物PR（11月11日 さいたま市 ホテルブリランテ武蔵野）
- ・ 埼玉県農商工連携フェアにて県産農畜産物のPR及び販売促進（12月2日 さいたまスーパーアリーナ）
- ・ 埼玉県食材提案会にて県産農畜産物のPR及び販売促進（令和8年1月28日 ホテルヘリテージ熊谷）

- ・ 埼玉いちご祭 2026 にて花束作り体験イベントを通じ県産花卉のPR（令和8年2月21日）
- ・ 埼玉県鉢物展示商談会にて県産花卉のPR（令和8年3月5日）

○ 令和8年度の取組計画

- ・ F R E i S A i d 版生産履歴管理システムの普及促進
- ・ 各種キャンペーン協議会等と連携したホームページ、テレビ、SNS、ふかや花園プレミアムアウトレット前デジタルビジョン、料理・食材雑誌にて農畜産物の情報提供
調味料メーカーとのメニュー共同開発、販促資材等の作成およびPR活動
- ・ 学校給食会への県産農畜産物の安定供給と連携強化
- ・ J A 農産物直売所の運営改善支援
- ・ 埼玉県産春野菜大田市場PRイベント（4月24日）



大 田 市 場 P R イ ベ ン ト

- ・ スーパー・量販店への販促強化及び県内農産物の地域内流通並びに春夏野菜、秋冬野菜、彩の国黒豚試食販売
- ・ 埼玉県と連携した水稻新品種えみほころのプロモーション活動の展開及び県産米の量販店等における販売促進等
- ・ 2026 彩の国食と農林業の祭典（ドリームフェスタ）にて
県産農畜産物販売促進（11月21日・22日 熊谷市 熊谷スポーツ文化公園）
- ・ 「埼玉県地産地消ブランド農産物を味わう集い」にて県産農畜産物PR（11月16日 さいたま市 パレスホテル大宮）
- ・ 埼玉県農商工連携フェアにて県産農畜産物のPR及び販売促進（令和9年2月上旬 さいたまスーパーアリーナ）
- ・ 埼玉県鉢物展示商談会にて県産花卉のPR（令和9年3月上旬）

【埼玉県森林組合連合会】

○ 令和7年度の取組

- ・ 県産木材認証センターの運営（通年）
- ・ 合法木材製品の利用促進
- ・ 第75回全国植樹祭 2025 埼玉への参加、出展

○ 令和8年度取組計画

- ・ 彩の食と農林業の祭典の開催及び出展
（「2026 彩の国食と農林業ドリームフェスタ」 11 月）
- ・ 県産木材のPR活動（通年 県内全域）
- ・ 県産木材認証センターの運営（通年）
- ・ 合法木材製品の利用促進
- ・ 木育推進活動

【埼玉県食品工業協会】

○ 令和7年度の取組

県産農産物を利用した加工食品の開発・販路拡大・広報活動

- ・ 埼玉県産農産物の使用推進
- ・ 県事業を活用し、新商品の開発のための情報交換会開催
- ・ 各酒造会社の使用する米、さけ武蔵、彩のかがやき等
県産酒造用好適米 山田錦、五百万石、美山錦の生産（加須市）
- ・ 県内各市町村との取組
 - 川島町 特産日本酒（天領舞スパークリング）
川島町特産 天領米を使った日本酒（麻原酒造）
 - 滑川町 滑川産さけ武蔵による日本酒（谷津の舞）
- ・ Made in Saitama 優良加工食品大賞 2026
上里町の梨を利用した日本酒リキュール「Kamisato 月にあこがれた梨」
が優秀賞受賞（熊谷市 権田酒造により製造）
毛呂山町 麻原酒造による「CRAFT LAB Yogurrt」が特別賞受賞
他 最終選考商品
 - 埼玉名物 にほうとう（岩崎食品工業）
 - 深谷ねぎ入りにんにく醤油麴（マルツ食品）など
- ・ 各種フェア、イベントに出展
- ・ さいしんビジネスフェア（6/11） さいたまスーパーアリーナ

- ・ 「全国日本酒フェア」(國酒フェア)(6/14～15) 大阪にて埼玉の日本酒をPR
- ・ 埼玉地酒祭り(7/27) 川越小江戸蔵里
(ユネスコ無形文化遺産伝統的酒造り登録記念イベント)
- ・ 埼玉酒蔵大試飲会開催 10/16 さいたまスーパーアリーナ展示ホール
- ・ 農商工連携フェア(12/2) さいたまスーパーアリーナにて埼玉県の日本酒のPR

○ 令和8年度の取組計画

- ・ 食品工業団体各会員相互の情報交換会を開催し、新商品の提案
- ・ ふるさと認証食品制度の活用、特にプレミアムの推進
- ・ 県産農産物を利用した加工食品の開発・販路拡大・広報活動
- ・ Made in Saitama 優良加工食品大賞 2027 への応募
- ・ 埼玉県物産観光協会主催
埼玉県新商品 AWARD 2027 への出品
- ・ 県産農産物の契約栽培の推進
- ・ 各種フェア、イベントに積極出展
全国日本酒フェアへの出展(県産日本酒のPR) 6/19～20
(今年は 東京開催 池袋 サンシャインシティ)
埼玉酒蔵大試飲会の実施(9/29 さいたまスーパーアリーナ展示場)
日本酒以外の各組合(漬物協同組合)に出展を依頼し、県産加工食品もPR
各蔵新酒まつりへの参加
他、 国税庁 酒農促進事業補助金を活用した
埼玉県産米生産者と県内酒蔵との連携を目的とした事業を実施

【一般社団法人埼玉県青果市場連合会】

○ 令和7年度の取組

- ・ 会報誌への資料掲載と取組に向けたPR(随時)
県産青果物の販売促進
ア「行田在来えだまめ」の県内流通(10月)
行田市及び熊谷市妻沼地区で生産される甘味が強く特有の風味をもつ「行田在来えだまめ」の契約取引(産地育成)を平成26年度から実施。
令和7年度の取引は県内主要7市場がスーパー等を通じて約2.4tを販売した。

イ「埼玉県産ピノガール」を新たな育成品目とするための諸準備
県内主要市場と全農県本部により食味会及び意見交換会を実施（7月）。
また、4市場において、試行取引を行った（7～8月）。
本県では、JA 埼玉中央を中心に、「ピノガール」（種が小さく種ごと食べられる小玉スイカ）の生産が始まっている。

○ 令和8年度の取組計画

- ・会報誌（電子情報版）への啓発資料掲載と取組に向けたPR（随時）

県産青果物の販売促進

県内市場が県、全農等と協働して新たな県産青果物の販路を拡大し、産地育成を図る。

ア 行田在来えだまめについて

生産、販路ともに安定した行田在来えだまめについては、令和9年度から一般取引に移行する。令和8年度は共同取引の最終年度となる（10月）。

イ ピノガールについて

令和8年度から、埼玉県産青果物販売推進部会の対象品目とし、部会参加7市場による共同取引を開始する。（7～8月）

ウ 県事業との協働

令和8年度からスタートする県の新たなブランド戦略について当連合会も参画し、ピノガールに係る産地育成と販路拡大に取り組む。

エ 県産青果物全般の取扱高の向上

県民の台所を賄うため、県内市場は全国から毎日集荷している。
令和7年度実績で野菜は19万7千トン、果実は5万7千トンで、そのうち埼玉県産青果物が占める割合は野菜、果実ともに低下傾向にある。

物流問題に対処するためにも、行政、全農、産地等と協働して、足元にある埼玉県産青果物の取扱高の向上を目指す。

【公益財団法人埼玉県学校給食会】

○ 令和7年度の取組

- ・バター・植物性生クリームを乳成分不使用のものに変更した学校給食用パンの開発

乳成分不使用パンが現行16種類から21種類へ（乳成分を含むパンもあり）（令和8年度4月から提供）

- ・学校給食への県産農畜物導入の推進（地場産物を活用した製品の開発）



彩の国豚豚まんじゅう(包装形態)



彩の国豚豚まんじゅう(揚げ調理)

- ・関連団体と連携し、児童生徒向けに埼玉県産農産物ポスター「埼玉県農産物マップ」を作成



- ・生きる力をはぐくむ食に関する指導モデル校等支援事業（１８校（所））
- ・学校における食育推進教材活用研修会（栄養教諭、学校栄養職員対象 ６月２０日）



- ・学校給食調理コンクール（栄養教諭、学校栄養職員対象 7月2日、24日）
- ・学校給食親子料理教室（8月5日）家庭で役立つ料理教室



- ・取扱食材等情報研修会（展示会）（栄養教諭、学校栄養職員対象 8月19日）



- ・学校給食教室（保護者対象8月29日）家庭と連携した食育を支援



- ・学校給食調理講習会（栄養教諭、学校栄養職員対象10月8日）食事内容を魅力的かつ豊かなものとするため



- ・学校給食親子体験教室（10月19日）親子によるパン作り体験教室



- ・11月の彩の国ふるさと学校給食月間に「彩の国学校給食研究大会」を開催（11月5日）



○ 令和8年度の取組計画

実施時期	実施内容・対象・回数等	実施会場・場所
6月18日	・「5か年事業計画」の「学校給食用食材の安全確保」等を目標に、令和8年度も引き続き事業を実施する。 ・関係団体と連携し、県内全児童・生徒を対象に県産農産物の給食への利用状況及び生産状況を紹介するポスターを作成し、地域農業・県産農産物への理解を深め地産地消と食育の促進を図る。 ・生きる力をはぐくむ食に関する指導モデル校等支援事業を行う。(17校(所))	学校給食会
7月2日、23日	・学校における食育推進教材活用研修会（栄養教諭、学校栄養職員対象） 食に関する指導用教材を活用した研修会 ・学校給食調理コンクール（栄養教諭、学校栄養職員、調理従事者対象）	学校給食会

8月4日	・学校給食親子料理教室 食育を支援するため親子を対象とした家庭で役立つ講習会	学校給食会
8月7日、10月16日	・学校給食調理講習会（栄養教諭、学校栄養職員対象） 食事内容を魅力的かつ豊かなものとする	学校給食会
8月19日	・取扱食材等情報研修会（栄養教諭、学校栄養職員対象）	学校給食会 指定パン工場
10月18日	・親子体験教室 学校給食用のパンについて理解を深めるため、親子によるパン作り体験教室を開催	さいたま市文化センター
11月10日	・彩の国学校給食研究大会 彩の国ふるさと学校給食月間にあわせ、学校給食調理コンクールの表彰も行う	

【埼玉県商工会連合会】

○ 令和7年度の取組

- ・ 商工会や商工業者による県内農産物を活用した特産品開発や販路開拓の支援
- ・ 商工祭・産業祭等における地域特産品の販売促進
- ・ 会報「彩の国商工会だより」やHPで地域の取り組みを随時PR
- ・ 池袋サンシャインシティで開催される全国物産展において、特産品開発業者の出展を支援
- ・ 国、県の補助金事業に関する情報提供と申請支援
- ・ ジェトロ埼玉貿易情報センター等関係団体との連携による販路開拓等の支援
- ・ 全国商工会連合会が推奨・提携している各種食品フェアに会員事業者の出展を支援

○ 令和8年度の取組計画

- ・ 商工会や商工業者による県内農産物を活用した特産品開発や販路開拓の支援
- ・ 商工祭・産業祭等における地域特産品の販売促進
- ・ 会報「彩の国商工会だより」やHPで地域の取り組みを随時PR
- ・ 池袋サンシャインシティで開催される全国物産展において、特産品開発

業者の出展を支援

- ・ 国、県の補助金事業に関する情報提供と申請支援
- ・ ジェトロ埼玉貿易情報センター等関係団体との連携による販路開拓等の支援
- ・ 全国商工会連合会が推奨・提携している各種食品フェアに会員事業者の出展を支援

【埼玉県商工会連合会】

○ 令和7年度の取組

- ・ 商工会や商工業者による県内農産物を活用した特産品開発や販路開拓の支援
 - ・ 商工祭・産業祭等における地域特産品の販売促進
 - ・ 会報「彩の国商工会だより」やHPで地域の取り組みを随時PR
 - ・ 池袋サンシャインシティで開催される全国物産展において、特産品開発業者の出展を支援
 - ・ 国、県の補助金事業に関する情報提供と申請支援
 - ・ ジェトロ埼玉貿易情報センター等関係団体との連携による販路開拓等の支援
- 全国商工会連合会が推奨・提携している各種食品フェアに会員事業者の出展を支援

○ 令和8年度の取組計画

- ・ 商工会や商工業者による県内農産物を活用した特産品開発や販路開拓の支援
- ・ 商工祭・産業祭等における地域特産品の販売促進
- ・ 会報「彩の国商工会だより」やHPで地域の取り組みを随時PR
- ・ 池袋サンシャインシティで開催される全国物産展において、特産品開発業者の出展を支援
- ・ 国、県の補助金事業に関する情報提供と申請支援
- ・ ジェトロ埼玉貿易情報センター等関係団体との連携による販路開拓等の支援
- ・ 全国商工会連合会が推奨・提携している各種食品フェアに会員事業者の出展を支援

【一般社団法人埼玉県食品衛生協会】

○ 令和 7 年度の取組

- ・ 食中毒予防の啓発
夏季の食中毒予防月間、冬季のノロウイルス食中毒予防強化期間を中心に、食中毒予防キャンペーンや衛生講習会を開催し、啓発物の配布や手洗いチェッカーによる指導を行った。
- ・ 食品衛生に関する各種講習会の開催
食品衛生責任者資格者養成講習会を浦和と東松山会場において 50 回開催するとともに、新型コロナウイルス感染症対策としてインターネット利用による e ラーニングを導入し、6,609 名の食品衛生責任者を養成した。同実務講習会を県内 29 回開催するとともに、e ラーニングも導入し 4,536 名に対し食品衛生に関する最新の情報を提供した。
- ・ 食品衛生指導員による施設の巡回指導
食品衛生指導員 460 名が食品営業施設を巡回し、自主管理の徹底、ノロウイルスの注意喚起、HACCP による衛生管理等を指導した。
- ・ 自主検査の推進
食品営業者の自主衛生管理を推進するため、腸内細菌検査 162,399 件、食品の細菌・化学検査 15,003 件を実施した。

○ 令和 8 年度の取組計画

昨年度と同様の事業を行うほか、特に食品営業者の HACCP による衛生管理を推進していく。